

「火災保険が使える」と誘う 住宅修理契約トラブルに注意！

【相談事例】

「火災保険の給付金で住宅修理ができるので、手続きを代行するという内容の新聞折り込みチラシを見た。この事業者は信用できるか。」といった相談事例のほかに、「火災保険などの損害保険を使って自己負担なく住宅の修理ができる」や「保険金が出るようサポートするので住宅修理をしないか」など「保険金が見える」と勧誘する住宅修理サービスに関する相談が寄せられています。



【注意事項】

- 電話や訪問で「火災保険で家の修理ができる。無料で申請等を手伝う」などと勧誘する住宅修理工事契約は、違約金や手数料などを含め、事前に契約内容の説明がされない場合、注意が必要です。
- ずさんな工事をされたうえ、高額な代金を請求されたり、経年劣化等による損害を、自然災害によるものと偽って、保険金の請求を勧めるなど、極めて悪質な業者もあるようです。
- 自然災害で住宅が損害を受けたら、まずは自分で保険会社や代理店に連絡しましょう。
- 事業者から契約を急かされてもすぐに契約せず、家族や周りの人に相談しましょう。

ご相談は南空知消費生活相談室（☎0123～72～3581）へ

■ 日時 毎週月・木曜日：13時～16時 毎月第2・第4水曜日：13時～15時

■ 場所 栗山町勤労者福祉センター（栗山町中央3丁目311）

地域おこし協力隊通信

vol.5

半年前のこと



南幌町に引っ越しをしてから半年が経ちました。

実は私が南幌町の地域おこし協力隊の面接を受けた次の日の未明に地震が起きました。

当時、札幌のススキノにある安いドミトリ（相部屋タイプの宿泊施設）の宿に泊まっていた、7階の部屋の2段ベッドの上段が私のスペースでした。一度突き上げるような震動のあと、長くゆったりとした不穏な揺れ。

急いでロビーのあるリビングでニュースを見ようとしたところで、あの停電が始まりました。その後、非常階段の扉をあけてまわったり貴重品をまとめてロビーに集まるように伝えてまわったり。

窓の外の信号が消え、ホテルのセキュリティも普段気にもとめていなかったいろいろな物も止まり様々な物が電気で動いている事に気が付きました。

リーズナブルなホテルのため、若い日本人の方や海外からの旅行者も多く、とりわけアジアからの若い旅行者の人は大きな地震そのものが初めてという方も多い様子でした。動揺してしまう外国人の旅行者も多い中、日本人の若い人達がバスタブやゴミ箱など溜められるものに水を蓄えたり、次の事に備えている様子に

日本がいかに地震の多いエリアであるか身に染みしました。

皆がお互いに声を掛け合う事が励まされるだけではなく、防犯の意味でもとても必要でした。

すぐに停電が起きたため地震の状況の把握ができず、道外の友人達が届けてくれる情報がとてもありがたく、教えてもらった情報を集まった人でお互いに共有しました。

はじめは停電1週間等の話もあり、どのくらいかの目処がつかないことが、水や食べ物の準備に悩んで、食べ物とか充電とか足りないものは皆で分け合って。足りてないけど足らずという経験は初めてのことでした。

電気が復旧した日、私はいつも通りの温かいコーヒーをいつも通りの器でいただけただけことに感謝しました。

辺見庸さんの本の中で、アフリカの村の酋長が、ネスカフエがあれば何もいらなと言ったエピソードを思い出して私もそんな気持ちになりました。

普通だと思っていたことが、贅沢であり幸せなことだと痛感する数日間でした。

南幌町にはじめて来た日は私にとって新しいことを始める日でもあり、立ち止まって考えてみる日にもなりました。

インスタグラム更新中！

南幌町の美味しい食べ物や絶景を発信していますのでフォローお願いします！

